

皆さん、こんにちは。

古賀市議会議長の奴間健司です。

本日は、福岡県中部十市議会議長会・議員研修会に、多くの皆さんが古賀市へお越しくださいました。開催地の議会を代表して、心より歓迎いたします。

中部十市では議長同士はお会いするたびにいろいろな意見交換を重ね、大変有意義な交流をさせていただいています。しかし、今回のように議員全員が集まって学びあい、経験交流する機会はさらに大きな意義があると思います。

各議会では、議会基本条例、議会報告会、インターネット議会中継などに取り組まれていることと思います。

さらに、議員間の自由討議や政策討議を通じて、条例提案、執行部提案に対する修正、さらには議会としての事務事業評価などに取り組み始めているところもあるかと思えます。古賀市議会は昨年、小郡市議会と並んで、日経グローバルの議会改革度ランキングで高い評価を頂きましたが、まだまだ課題はたくさんあります。

市民の付託に応え、地方自治の確立と住民福祉の向上にむけて議会の果たすべき役割はますます重要となっています。二元代表制のもと、それにふさわしい議会の力量を向上させるために、経験交流と学習の機会がもつともっと充実できたらと願っています。

さて本日は、岡山市にある地域公共交通総合研究所の

小嶋光信理事長に講演をお願いすることができました。小嶋理事長は、地方公共交通の衰退に強い危機感をお持ちです。猫のたまちゃん駅長で有名になった、和歌山県貴志川線の再建など多くの地方交通の再生に取り組まれています。また、昨年12月に施行された交通政策基本法の審議過程で、国会で参考人としてご意見を述べるなど、重要な役割を果たされています。

8月には「地方交通を救え！再生請負人・小嶋光信の処方箋」という本を出版されました。

私も岡山でお話をお聞きしましたが、公共交通とまちづくりに関する理事長のご提案は大変参考になりました。中部十市では地域公共交通のあり方は様々ですが、

どこも苦勞していますし、住民の関心や要望も大変強いものがあります。

実は、理事長は大変お忙しい方なので、今年の4月前後から講演依頼をさせていただき、打ち合わせを重ね、本日を迎えることができました。理事長のお話しは、議会としての政策提言力向上に、そして各市の公共交通政策に必ず役立つと考えています。

さて、古賀市では、山崎パン、ハウスなど食品企業が頑張っています。古賀市の製造業出荷額は県内第9位ですが、食品関連は福岡市について第2位です。

古賀市は食の祭典など食を特徴とするまちづくりを推進しています。

今日は、その中でニビシさんと山崎パンさんのご好意ならびに観光協会のご協力で、参加者全員にお土産を提供していただきました。各事務局にお渡ししていますので、ぜひお持ち帰りいただき、お召し上がりください。

古賀市では毎月、食品工業団地で直販の日があります。資料の中にマップを入れていきますので、ご利用いただければ幸いです。

今日の研修会に当たりましたは、古賀市議会議員および議会事務局職員、全員が精一杯のお世話をさせていただきます。諸般の事情で古賀市議会は定員19人に対し現在16人となっていますが、全員がおもてなしの心で皆さんのお越しをお待ちしていました。何かと行き届か

ないところがあるかと思いますが、ご了承いただきませうようお願い申し上げます。

結びに、福岡県中部十市議会のご発展ならびにご出席の皆様方のご健勝、ご多幸を祈念申し上げます、あいさつといたします。

本日は最後までよろしくお願いいたします。

2014年10月29日 古賀市議会議長 奴間健司